

切手のいらない手紙

平成 25 年 12 月 17 日



12月8日（日）に、特別養護老人ホームにて慰問演奏を行いました。合唱部と吹奏楽部の合同による演奏会です。場所は「くらがいけ」老人ホームで、まだ新しい施設です。「ふるさと、赤どんぼ、浜辺の歌」などの唱歌や「学生時代、見上げてごらん夜の星を」などを発表しました。吹奏楽では、「水戸黄門や暴れん坊将軍、つぐない、あまちゃんのテーマ曲」などを演奏しました。最後に、部員が訪問するお年寄りのために「手紙」をわたして交流をはかりました。

～～今回は、バスケ部女子の話です～～

私は小学生の頃からずっとバスケをやってきて、高校生活でもバスケ部に入部し、がんばっています。練習は楽しいことばかりでなく、とてもつらくて大変です。休みはほとんどなく、すごく疲れます。そのため、辞めていく部員もいました。でも、そのつらい練習を乗り越えて、上手くなっていき、いい試合ができるようになってきました。つらくて厳しい練習をバスケ部の仲間と乗り越えることができるようになりました。

バスケ部に入り、学んだことが三つあります。一つ目は、仲間の大切さです。私は、同学年の人はいませんでした。先輩や後輩、先生などたくさんの人に支えられがんばることができました。二つ目は、継続することの大切さです。何をやるにも、途中でやめてしまえば、今までの努力が水の泡になってしまいます。継続することに意味があるのだと学びました。三つ目はあきらめないことです。試合で相手が強くて勝ち目がなくても、あきらめずに戦うことが大切だと学びました。途中であきらめずにがんばって良かったと思います。バスケ部で学んだことを大切にしていきたいです。

